

12. 新人看護師の定着を目指した教育体制の構築

愛媛大学医学部附属病院 副看護部長 山下真代

【概要】

新人看護師をはじめ、就職後2年目、中途採用者の離職が増加するなか、次年度「入院基本料7対1」獲得を目指し、例年の約3倍の新人看護師の採用することになり、様々な教育課程を経た新人看護師になるため、臨床看護実践能力到達レベルの差異や低下という問題に直面することが予測される。

当看護部では従来、新人看護師の看護技術習得に関する教育は、集合教育による演習形式とし企画・実施・評価を副看護師長が担当しているが、対象人数の増加により新たな企画運営および分散教育との連携が重要になると考える。そこで、人材育成担当副部長として、新人看護師の教育指導体制の改善を図るとともに、その構築を目指すための取り組みを報告する。

【実践計画】

1. 新人看護師育成のための教育指針の見直し
2. 厚生労働省の「新人看護職員研修到達目標及び新人看護職員研修指導指針」に基づく指導要項および評価表を作成する
3. 新人看護師の基礎看護技術習得の集合教育を企画する
4. 副看護師長を対象に新人看護師の特性を理解し教育方法を学ぶ研修を企画する
5. 他施設訪問研修により新人看護師教育体制および看護体制に関する情報収集を行う

【結果】

1. 新人看護師育成のための教育指針の見直し
2. 厚生労働省の「新人看護職員研修到達目標及び新人看護職員研修指導指針」に基づく指導要項及び評価表作成（副看護師長）

副看護師長が新採用看護師の教育資料として、従来作成し使用していた「基礎看護技術指導要綱・資料・評価チェックリスト」、「看護評価チェックリスト」、「リスクマネジメント指導要綱・資料・評価チェックリスト」、「接遇マニュアル・評価表」を、厚生労働省の「新人看護職員研修到達目標及び新人看護職員研修指導指針」に基づき、「技術的側面・管理的側面・看護職員として必要な基本姿勢と態度」についての指導要綱・資料・評価表を作成。
3. 新人看護師の基礎看護技術習得の集合教育企画（副看護師長）

就職前研修を希望者対象に3月15～16日に、副看護師長が企画立案・実施する
就職後研修を採用1ヶ月・3ヶ月・6ヶ月目に、副看護師長が企画立案・実施する
4. 副看護師長対象に新人看護師の特性を理解し教育方法を学ぶ研修企画
5. 高知大学医学部附属病院を訪問し、新人看護師の教育体制については、クリニカルリーダー導入し、集合教育では院内多職種チームの講師による研修会・講習会を実施し、看護技術教育は分散教育においてプリセプターが実施している状況であるが、次年度採用者が増加するため、分散教育では指導者不足の問題を抱え、その対応策は課題の

状況であった。

一方の看護体制については、部分的2交代制勤務を現在半数の部署が導入している状況であった。分散教育の視点でみると、精神的負担が軽減し安心感が得られるため余裕をもった相談・指導が可能となり効果的であるとの知見が得られたため当院でも参考にしたい。

【まとめ】

今回の取り組みに関しては、平成19年度教育評価で行う必要がある。